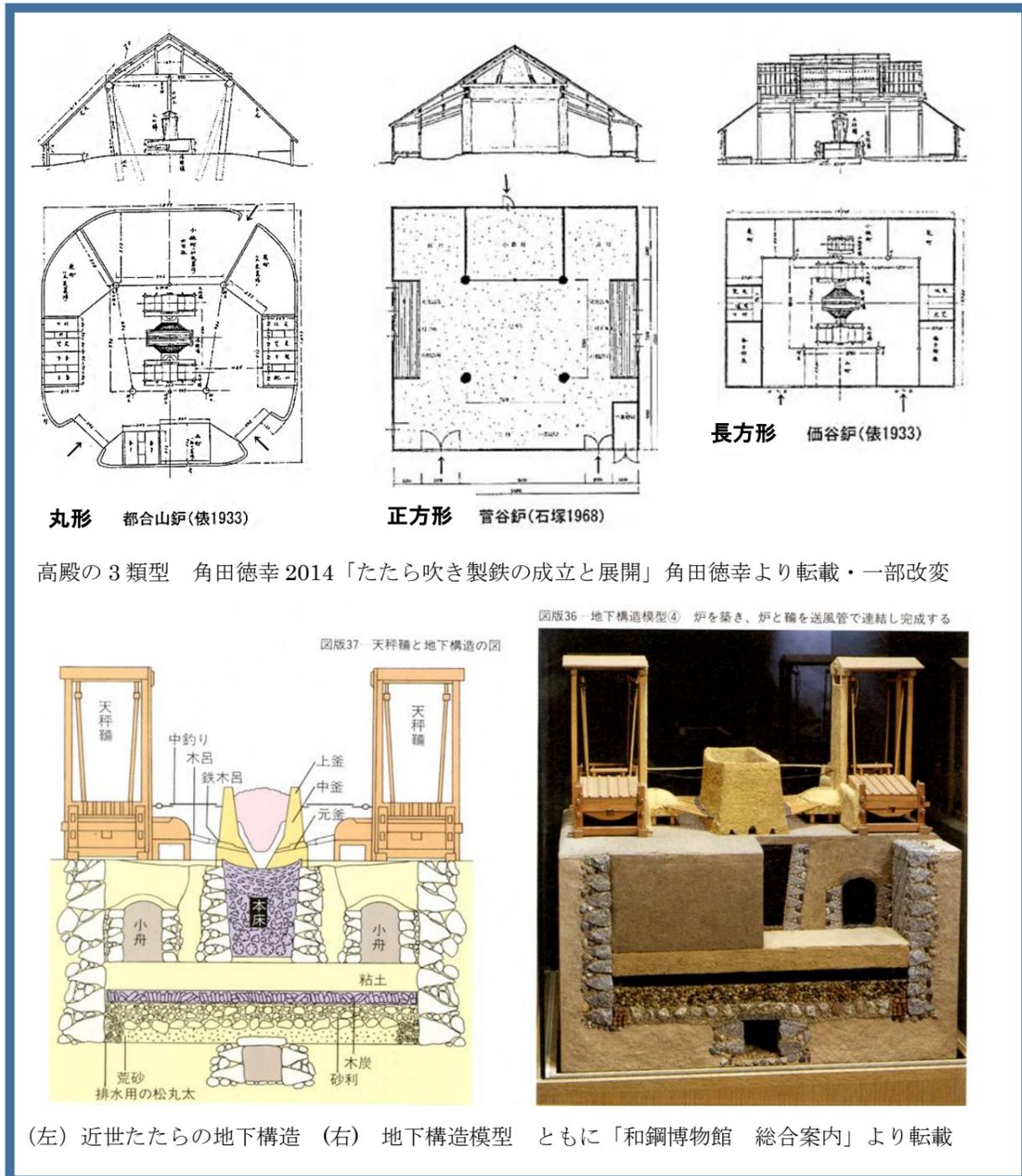


調査の概要

今回の発掘調査はこの地域では初めての高殿の全面発掘となります。製鉄炉そのものはすでに失われていましたが、類例のない特殊な平面形の高殿たたらであることがわかり、複雑な地下構造、施設配置を確認しました。このことは高殿たたらの変遷を考えるうえで重要な発見となりました。文献資料も残されている著名なたたら跡を全面調査することによって、江の川流域のたたら製鉄と地域の歴史を具体的に考える貴重な資料を得ることができました。



桜谷鉦跡現地説明会資料

令和5年11月3日
島根県埋蔵文化財調査センター

はじめに

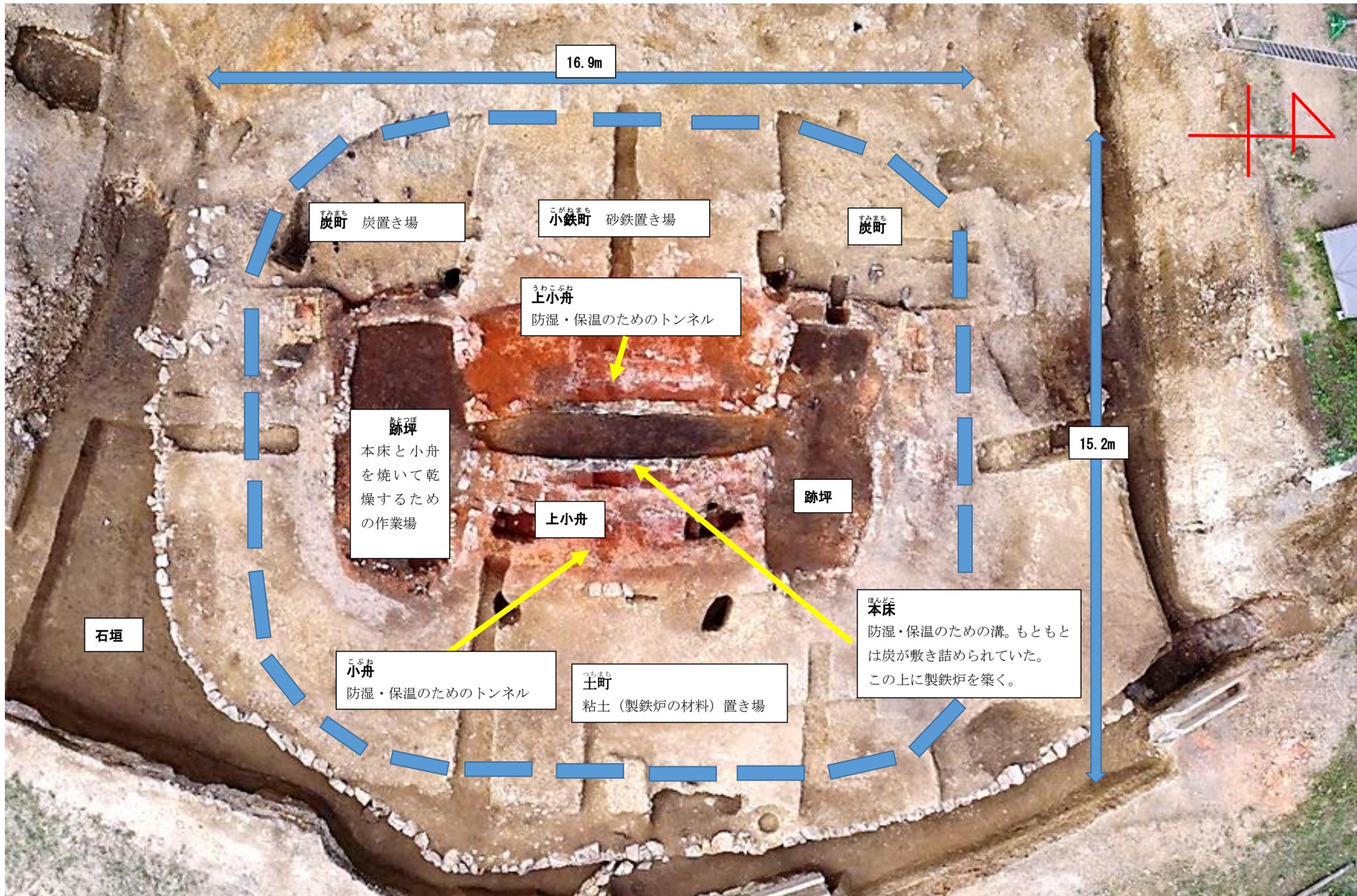
島根県埋蔵文化財調査センターでは、国土交通省浜田河川国道事務所から委託を受けて、江の川河川改修に伴う埋蔵文化財発掘調査を実施しています。今回は、桜谷鉦跡の現地説明会を開催し、みなさまに調査成果をご覧いただきたいと思っております。なお、調査にあたってご理解、ご協力をいただきました地元の皆様や、国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所、江津市教育委員会を始めとする関係各機関の皆様方にあらためてお礼申し上げます。

桜谷鉦跡の調査

桜谷鉦跡は、江戸時代から明治時代にかけて製鉄を行った「たたら跡」です。地元の庄屋で文化人として知られる石田春律いしだはるのりが経営し、江戸時代の古記録等に記載があるなど古くから知られていました。



発掘調査箇所位置図



桜谷鉄跡の主要遺構（点線は高殿の輪郭線）